圕

健康福祉政策室

M

63

· 7579



No.874 毎月4回発行(日曜日)

2010年(平成22年) 8月22日日発行

発行/名張市企画財政部広報対話室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 **a**0595-63-7402 **M** 64-2560 **□** info@city.nabari.mie.jp

■http://www.city.nabari.lg.jp 携帯版圖 http://www.city.nabari.lg.jp/m_index.htm バーコード読み取り対応の携帯電話端末から携帯版 四へ →

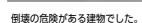


主な内容 P3−6…ふるさとい〜な P7…ひまわり P7−8…「市長への手紙」様式 P8…「防災ほっとメール」9月1日から受付開始

震度7の地震に耐える

新消防庁舎は、消防本部と名張消 防署、防災センターが入る市の防災 拠点です。震度7の地震にも耐えら れるよう設計されています。

なお、旧消防庁舎は、東海地震、 東南海地震、南海地震が連動して発 生した場合の予想震度5強の地震で



2. 市役所に隣接し、消防本部と行政の各部署との連携強化

市役所と隣接し、消防本部と行政 の各部署との連携が迅速かつ的確に 行えます。大規模災害発生時には、

災害対策本部を約350㎡もの広さが ある防災研修室に設置し、災害対応 の拠点として活用します。



119番の受信から火災、救急、救 助などの出動指令までの操作を、迅 速かつ的確に対応できる通信指令装 置を導入しました。また、消防車庫 が広くなったことで、従来、朝日町へ 単独で格納していたはしご車を格納で



きるようになるなど、各車両が迅速に 出動できるようになりました。

4. 充実した訓練の実施

高さ約19m (地上5階) の訓練塔 を整備。想定消火訓練やロープブリ ッジ渡過訓練などの救助訓練が実施 できます。



現場に近い想定での訓練が可能に。さらなる技術向上を!

「大規模地震が起こり、消防庁舎が倒 壊すれば…」。不安の声が市民の皆さ んから寄せられていました。これが現 実となれば、わたしたちにとっても、 満足な救命救助ができないという非常 に悔しい結果につながりかねませんで した。まさに新消防庁舎は待望の施設 であり、消防職員一同、「市民の生 命、身体、財産を守りたい」という意

気込みを強く しているとこ ろです。

また、旧消 防庁舎では、 訓練する場所 が限られてお 放水訓

練を名張川で行わなければならなか ったり、防火衣を着用する場所も狭 く、迅速な出動に支障をきたしたり していました。今回整備された訓練 塔では、マンション、高層ビル、瓦 屋根、スレート屋根といった各種建 物を想定した救助訓練や、建物内で の放水訓練など、実際の現場にでき るだけ近い想定の下、訓練を実施で きます。隊員同士、消防車同士の連 携を図ったり、先輩から後輩へと技 術を引き継いでいったりすることも 容易になりました。

今後も、実際の火災や救助に迅速 かつ的確に対応できるよう、訓練に 訓練を重ね、さらなる技術向上を目 指し続けます。

9月の納税 (納期限…9月30日本) 国保税 (3期)

納税は便利な口座振替で 🛅 収納室 角 63 - 7439



いくために、 たしていくのか―。 市消防本部 今号では、 63 1 4 1 危機管理室

習コーナーが注目されがちですが、 6月に始動した新消防庁舎。 新しい消防庁舎が防災拠点施設としてどんな役割を果 皆さんにご利用いただく防災体験学